



概要

高齢化・人口減少が進む中山間部において、交通空白地域の縮小及び持続可能な移動確保策の構築を目指し、昨年度から継続してデマンド型乗合タクシー等の実証運行を行うほか、交通結節点における施設整備などを行う。

○中山間部における施策

- ①乗合タクシー(1台 10人乗り)、乗用タクシーの利活用によるデマンド方式の実証運行
- ②コミュニティバス(1台 14人乗り)の導入によるデマンド方式の実証運行
- ③デマンド交通の運行支援システム(市で開発)を活用した利用者満足度等調査
※山口大学工学部への受託事業

○待合環境施設整備

- ①大型商業施設の待合施設の整備
- ②地域コミュニティ核での待合施設の整備

○公共交通の利用促進策の実施

- ①市への転入者への公共交通利用の動機付けのための転入者対象MMリーフレットの作成、配布

